

自主学習のススメ

1. はじめに

これからの社会では、自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力がますます重要になっていきます。子どもたちが、将来、自立して学び続けるためには、「自学自習の習慣」を身に付けることが不可欠です。

学校教育目標

**自ら思考して行動し、未来を創造することができる生徒の育成
～輝き合い、育ち合い、魅力あふれるコミュニティスクール～**

本校では、上記の学校教育目標のもと、日々の授業の中で子どもたちが自ら思考し学びに向かう意欲を高め、家庭学習につなぐサイクルの確立を目指します。

本手引では、学校での主な学習内容や、自学自習の習慣を身に付けるために、大切なことなどをまとめていますので、ご家庭での支援にお役立てください。

2. 自学自習を通して目指す学びの姿

**夢や希望を持って、よりよい生き方を考え行動できる
学ぶことや発見することの楽しさを知り、自ら学びに向かう**

3. 本校における自学自習についての方針

■宿題や課題などについて

- ・計画を立てて取り組むようにしましょう。

■予習・復習について

- ・教科書を読んでおきましょう。どのような学習をするのか知っておくことで、授業に積極的に取り組み、課題を見つける力も付きます。
- ・その日の学習はその日のうちに復習しましょう。問題集やデジタルドリル（ミライシード）などを活用しましょう。

自学自習で大切にしたいこと💡

- 自分が興味・関心のある物事について、調べてみましょう。探究的な学びに取り組みましょう。
- 自分で学習の計画を立て、主体的に学びを進めましょう。
- スマートフォン・ゲーム等の使用時間に注意しましょう。
- 読書を通して、新しい知識、いろいろな感じ方、ものの見方、考え方に触れ、豊かな人間性を育てましょう。

保護者の皆様へ

お子様の自学自習を支えるうえで、以下のようなことも大切にしてください。

- ご家庭で、「今日の授業の中でおもしろかったって思ったことはあった?」「学校の授業で学べたことを教えて?」といった声かけをしていただき、子どもが学んだことをアウトプットすることを大切にしてください。
- 学習に集中できる環境づくりを心がけてください。

中学校7～8年生



学習内容の特色

中学校では、各教科でより専門的な内容を学んでいきます。内容が難しくなり、量が増えていきます。小学校で身に付けた自学自習のポイントに加えて、自分自身で計画を立て、学習方法や内容を工夫し、何をするか自分で考え、実行できる力が求められます。また、自分が関心のあることをさらに探究し、学びを深めていきましょう。



自学自習のポイント！

自分で設定した学習を、いつどのように取り組むのが肝心です。自分に必要な学習に気付き、自分で計画的に行う学習は、誰かに指示されてする学習より、何倍も効果があります！

① なりたい自分になるための進路について考えよう！

テストや学習確認プログラムの結果を自分で分析して、自分の弱みや強みなど、自分の状況を把握し、今やるべき学習（課題やテスト勉強等）の計画を立てましょう。興味・関心のある学習（探究的な学び）に取り組む時間を設定しましょう。

② 予習で工夫を！復習に重点を！

教科書は、授業の前日に読んでおきましょう。どのような学習をするのかを知っておくと、授業に臨む姿勢も自ずと変わるはずです。また、あらかじめ自分で調べたり考えたりして、授業に臨めば、学習内容の理解がさらに深まります。

その日のうちに、教科書やノート、プリントを使って、学習のポイントを整理しましょう。授業支援ソフトやデジタルドリルを活用すると、効果的に学習を進めたり、学習の足跡を残したりすることができます。

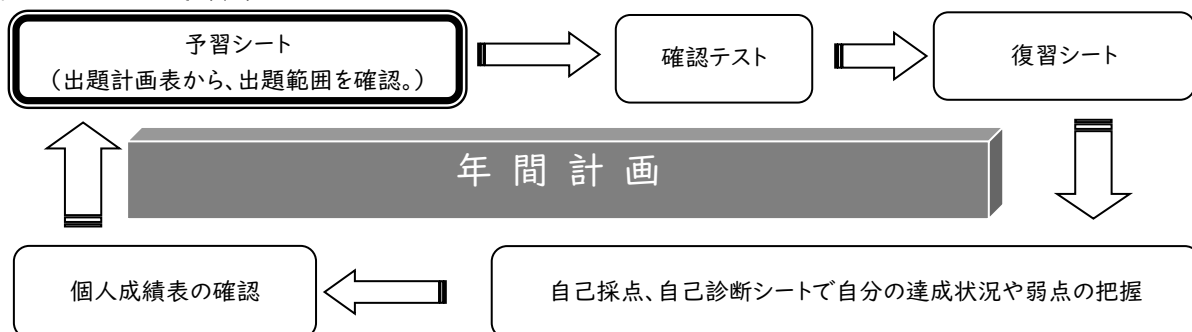
③ ノートやワークシートの有効利用を！

自分の学びを深めるために、ノートやワークシートづくりを工夫しましょう。例えば、復習や見直しのために、ノートでは学校での学習は左ページに、自分でまとめたり付け加えたりしたものは右ページに書くなどの工夫があれば、あとから振り返ることができます。ワークシートも色などを使って付け足すとわかりやすいです。

<「学習確認プログラム」でステップアップ!>

- 中学校7年生から、「学習確認プログラム（京都市小中一貫学習支援プログラム）」となります。学習計画に沿って復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。指摘された学習のポイントは繰り返し勉強しましょう。

《実施サイクル》 学習確認プログラム



中学校9年生



学習内容の特色

- 9年生の授業の予習・復習と7・8年生の内容の復習の両方を進めていくことが大切です。
- デジタルドリル(ミライシード)には、これまでの学習の足跡が残っています。自分の得意・不得意を把握して復習をするときに活用しましょう。



自学自習のポイント!

- 興味・関心のある学習(探究的な学び)に取り組む時間を設定しましょう。
 - 学習確認プログラムの3年間の「復習シート」を活用して、中学校の総復習をしましょう。
- <卒業後をイメージして、スケジュール管理を!>
- 進路相談で話したことをもとに、受験日から逆算して、復習に重点を置く期間、進路対策に重点をおく期間などを、大まかに設定しましょう。将来にわたって、スケジュール管理ができるようになっておくといいですね。
 - テストや学習確認プログラムなど、いつ、何があるのかをカレンダーに書き込んでおきましょう。
 - テスト勉強や進路対策の勉強を、いつどのようにするのか計画を立て、自分でスケジュールを管理しましょう。
 - 自分で主体的に学習することが、進路や卒業後の姿を変えていきます。

<夏休み>

- 7・8年生までの総復習を、集中して行う絶好の機会です。自分で学習計画を立てて復習等に取り組みましょう。与えられた課題だけをするのでなく、自分にとって必要な学習を進めましょう。
- 夏休みの時間を有効に使って、気持ちを切り替えて計画的な勉強に一層力を入れましょう。
- 規則正しい生活リズムが、学習効果を生みます。十分な睡眠・バランスの良い食事・適度な運動を取入れ体調管理に努めましょう。

<冬休み>

- 進路希望が明確になります。これまで学んだ内容の総復習をしましょう。出題傾向を調べ、対策問題などにも挑戦しましょう。
- 高等学校、将来に向けて
高校では、将来の進路選択に向け、長期的な学習計画を立てて、取り組むことが求められます。また将来、社会や仕事では、未知の課題に対応するために、既存の知識を柔軟に応用する力が不可欠です。小学校と中学校で学んだことを使って、より発展的に考える力が重要となります。